

中国語の「得」について

文 楚 雄

On the Function of “de” in the Chinese Language

Wen Chu Xiong

The Chinese particle “de” is very difficult to use for those whose mother language is not Chinese. In this paper many examples of sentences with “de” are given and examined with reference to the position of “de” in the sentence and the composition of the sentence structure.

1. はじめに

中国語の「得」の使い方は結構難しく、中国語を母国語としない外国の学生はなかなか身につけられないようである。この前学生に「かれは車を運転するのがうまい」という日本語の文を中国語に訳させたところ、次のような7種類の訳し方が出て来た。

- ① 他開汽車開得好。
- ② 他汽車開得好。
- ③ 他開汽車得好。
- ④ 他開得汽車好。
- ⑤ 他好汽車開。
- ⑥ 他開汽車好。
- ⑦ 他好開汽車。

以上の7つの訳文の中には、文法的及び意味的に正しいのが①と②だけで、ほかの5つの文はみんな間違いがある。ご承知のように中国語は日本語と違って、「てにをは」のような助詞によって文が成り立つのではなく、単語の語順や文の構造などによって構成されるのである。語順や構造をかえると、意味が変わったり、通じなくなったりする。「得」がはいった中国語の文はその語順と構造には決まった形式があり、それに従わなければならない。本稿はそういう語順と構造の解明を試みた。

2. 「得」がはいった文の語順と構造の考察

中国語の「得」は単語の分類から見れば、動詞、助動詞、助詞、単語の構成成分に分けること

ができる。まずそれぞれの使い方を見てみよう。

2-1 動詞

「得」は動詞として次のような使い方がある。

(1) 得る、獲得するなどの意味を表わすときに使う。例えば、

①得益。/利益を得る。

②得分。/点数を獲得する。

③得一個好消息。/うれしいニュースが入った。

(2) できあがる、しあがるなどの意味を表わすときに使う。例えば、

④飯得了。/ご飯はもうできあがった。

⑤衣服還沒有做得。/着物がまだできあがらない。

(3) 必要とするなどの意味を表わすときに使う。例えば、

⑥修建這樣的大橋至少得兩年。/こんな大きな橋を建設するにはすくなくとも二年はかかる。

⑦這個工作得三個人。/この仕事は三人でやらなければならぬ。

2-2 助動詞

「得」は助動詞として次のような使い方がある。

(1) 「しなければならぬ」などの意味を表わすときに使う。例えば、

⑧時間緊迫我得馬上回去。/時間がさしせまっているから私はすぐ帰らなければならぬ。

⑨符合條件者得優先錄取。/条件に合致するものは優先的に採用しなければならぬ。

(2) 「必ずそうなると思う」などの意味を表わすときに使う。例えば、

⑩不快走就得迟到。/いそがないとおくれてしまうよ。

⑪这么晚才回来，媽又得說你了。/こんなにおそくなって、おかあさんはまた君をしかるよ。

助動詞として使う場合の否定式は「不得」と言わずに、「不会」「不用」と言う。例えば、

⑫還有半小時，不用着急。/まだ30分あるから、あわてないでください。

(3) 助動詞としての「得」はよく「不得不」という構造にして、客観的な情況によってそうしなければならぬという意味を表わす。例えば、

⑬飛機票買不着，他不得不改乘火車。/飛行機の切符が買えなくて、汽車に乗ることに変更しなければならぬ。

⑭我不得不答應。/私は承諾しなければならない。

2-3 助詞

「得」は助詞として次のような使い方がある。

(1) 助詞としての「得」は動詞のあとにつけて、「動詞+得」の構造にして、可能の意味を表わす。例えば、

⑮用得。/使える。

⑯喫得。/食べられる。

⑰他去得，我也去得。/かれが行けるなら，私も行ける。

この場合の特徴としては，①一般には動作の主体者に対して害があるかどうかを示す。②「得」の前の動詞は単音節の動詞でなければならぬ。③「得」の前の動詞は受け身の意味を持つ動詞なので，普通「得」の前には目的語がつけられない。④否定の場合は「得」の前に「不」をいれる。例えば，

⑱這種蘑菇喫得，那種蘑菇喫不得。/この種のきのこは食べられるが，あの種は毒があって食べられない。

⑲這東西晒得晒不得？/この品物は日に当てることができるかできないか。

⑳这孩子長得真快，半年前的衣服都穿不得了。/この子はなんてはやく背が伸びるんだろうね。半年前の服はもう着られないなんて。

(2)「得」は動詞または形容詞の後につけて，「動詞・形容詞＋得」のような構造にし，「得」のあとに程度或いは結果を表わす補語をつける。例えば，

㉑建設得很漂亮。/とてもきれいに建設されている。

㉒笑得肚子痛。/おなかが痛くなるほど笑う。

㉓顔色綠得可愛。/色がとてもかわいらしいほど濃い緑である。

この場合の特徴としては，

1「得」の前は動詞・形容詞どちらでもいい。例えば，

㉔收拾得干淨極了。/(動詞)/とてもきれいに片づけている。

㉕動作快得出奇。(形容詞)/動作が信じられないほど早い。

2「得」のあとにつく補語は動詞，形容詞，副詞，文節から構成される。例えば，

㉖高興得大声笑着。(動詞)/機嫌がよくて，大声で笑っている。

㉗雨下得很急。(形容詞)/雨がどしゃぶりに降っている。

㉘好得很。(副詞)/とてもいい。

㉙忙得他团团轉。(文節)/首がまわらないほど忙しい。

3「得」の前の動詞をダブルにして使うことができない。また動詞のあとに「着・了・過」など時を表わすことばをつけることができない。例えば，

㉚他說得快。/かれの話し方がはやい。他說說得快。(×)

㉛写得清楚。/はっきり書いている。写着得清楚。(×)

4 否定の場合には否定詞の「不」は「得」の前につけるのではなく，「得」のあとにいれなければならぬ。例えば，

㉜字写得不清楚。/字がはっきりしていない。

㉝雨下得不小。/雨がひどく降っている。

しかし「得」のあとの補語は副詞または文節からなる場合は「不」を使わない。例えば，

㉞糟得很。(副詞)/とてもまずい。糟得不很。(×)

③⑤樂得他跳起来。(文節)/飛びあがるほど喜んでいる。 樂得他不跳起来。(×)

(3)「動詞+目的語」の構造に「得」を使い、さらに「得」のあとに補語をつける場合は文の語順と構造は「動詞+目的語+前の同一動詞+得+補語」のようにしなければならぬ。例えば、

③⑥他 唱 歌 唱 得 很好。

(動詞+目的語+動詞+得+補語)/かれは歌を歌うのがうまい。

③⑦聽 故事 聽 得 不想回家。

(動詞+目的語+動詞+得+補語)/家に帰りたくないほど物語を聞いている。

③⑧他走路走得很快。/かれは歩くのがはやい。

本稿のはじめに挙げた「かれは車を運転するのがうまい」を中国語に訳する場合に、このような語順と構造に従う必要がある。まず前にあげた7つの訳し方を具体的に分析してみよう。

①「他開汽車開得好」の訳し方は正しいである。この訳文は「動詞+目的語+動詞(前に使った動詞)+得+補語」の語順と構造に従っている。

②「他汽車開得好」の訳し方も正しいである。この訳文は「他開汽車開得好」の圧縮文で、「開汽車」の「開」が省略されている。

③「他開汽車得好」の訳文には助詞「得」の前に「開」という動詞が欠けているので、決まった構造にあわなく、間違っている。

④「他開得汽車好」の場合は2ヵ所が間違っている。1つは「得」の位置は正しくない。「得」は目的語「汽車」の前の動詞のあとにつけるものではなく、目的語のあとの動詞につけなければならぬ。もう1つは目的語のあとにつけるべき動詞が欠けている。

⑤「他好汽車開」の場合は間違いが3つある。まず「好」という言葉の位置が正しくない。この文においては「好」が「補語」の身分として出ているので、「得」のあとにつけなければならぬ。第2は「汽車」という言葉は目的語なので、その前に「開」という動詞が必要である。最後に文には「得」が欠けている。

⑥「他開汽車好」の場合は「開汽車」のあとに「開」と「得」が欠けているので間違っている。

⑦「他好開汽車」の場合はまず「好」の位置が間違っている。「好」は補語なので、文の一番後ろに持っていかなければならぬ。第2は「開汽車」のあとに「開」と「得」が欠けているので、正しい文の構造に違反している。

(4)「得」は動詞と補語の間に用いて、能力の意味を表わすことができる。例えば、

③⑨聽得懂。/聞いてわかる。

④⑩辦得到。/やりとげることができる。

④⑪拿得動。/持つことができる。

④⑫回得来。/帰ることができる。

否定の場合は「得」の前あるいは「得」のあとに否定詞の「不」をいれるのではなく、「得」を「不」にかえなければならぬ。例えば、

拿得動 → 拿不動

辦得到 → 辦不到

回得来 → 回不来

能力を表わすこの場合の構造は可能を表わす2－3(1)の構造とよく似ているが、2－3(1)の場合は「得」のあとになにもつけることができないのに対して、いまの場合は「得」のあとに補語をつけなければならぬ。

2－4

(1) 話しことばとして、談話が終るとき、賛成或いは禁止の意味を表わすときに「得」を使う場合がある。例えば、

④③得，就这么辦。/よし，ではそうしましょう。

④④得了，別說了。/よせ，もう言うな。

④⑤得了吧。/もういい。

(2) 口語の中に様子が悪くなって、どうしようもないという意味を表わすときに使う。例えば、

④⑥得，这一張又画壞了。/ちえっ，また一枚かきそこなった。

④⑦得，又忘帶傘了。/しまった，また傘を忘れた。

(3) 陳述文の文末につけて、肯定の意味を表わす。例えば、

④⑧我明天一定去，絶不讓生產受影響得。/あした私は必ず行く。絶対に作業に影響をあたえない。

④⑨你走得，家里的事不用你操心。/いっていらっしゃい，家のことは心配しないで。

(4) 単語の構成成分として使う場合がある。例えば、

記得/覚える。 曉得/わかる。

認得/知っている。 覺得/おもう。

值得/あたいる。 免得/まぬがれる。

3. ま と め

以上の考察と分析を通じて次のいくつかの点がまとめられるように思われる。

(1) 中国語の「得」は動詞、助動詞、助詞、話し言葉、単語の構成成分として使える。

(2) 助詞として使う場合には基本的構造は「動詞・形容詞＋得」である。程度・結果などを表わす補語は「得」のあとにつく。しかし、可能の意味を表わすときには「得」のあとになにもつけない。

(3) 「得」の前の動詞には目的語がついている場合、「得」とその後ろの補語の間に「得」の前の動詞をくりかえす必要がある。

(4) 可能を表わすときの否定式は「得」の前に否定詞の「不」をいれる。

(5) 「得」のあとに補語がついているときの否定式は否定詞の「不」を「得」と補語の間につける。しかし能力を表わす補語がついている場合の否定式は「得」を「不」にかえる必要がある。

- (6) 助動詞として使う場合の否定式は「不得」と言わずに、「不会」「不用」と言う。

参 考 文 献

- | | |
|-----------|---------|
| 「現代漢語八百詞」 | 商務印書館 |
| 「現代漢語辞典」 | 商務印書館 |
| 「漢日辞典」 | 吉林人民出版社 |
| 「中日大辞典」 | 愛知大学 |